

以下、同梱の説明書にない追加項目を掲載します。

## K5000W, S, R 共通

1. アドバンスド・アディティブ用音色メモリが標準でメモリ(ME-1)を増設し、K5000S, K5000R は2倍、K5000W は3倍になりました。SINGLE を数回押しするとEバンク、Fバンクが選択できます。  
尚、MIDI では、EバンクはBANK MSB=103/LSB=0, FバンクはMSB=104/LSB=0 で呼び出せます。
2. 工場出荷時の音色を大幅追加。新規音色100音色をAバンクに、ライブリートを紹介するカタログ音色もEバンク、Fバンクにおさめました。詳しくは次頁「工場出荷音色」をご覧ください。
3. I/O以外の北機能の追加。マルチfor北 EDIT でシングル音色のI/O以外が北出来ます。  
EDIT を押しメニュー画面の右下で北もとの音色を選びF7で実行します。

## K5000W, S 共通

- リック機能の追加。豊富なシングル音色をステップ演奏等で必要な物を並べられるリックが可能です。SINGLE を押しバンクが変わりFバンクの次にリック番号が画面左上に表示される画面になります。ダイヤル L3, L4, 音色以外の00~12, 0~9でリック番号が選択出来ます。00~12は10個毎のリストが表示されます、0~9で決定され音色が変わります。  
リックの中身の設定はリック番号を選択した後、WはR1、SはR2を押しEditモードに入った事を確認し、ダイヤルで必要な音色を選びます。ライトはLINK Mode を抜ける時に記憶されるので必要ありません。

## K5000S, R

1. PGMのUP/DOWNがSW1,2, F SW1, 2にアサイン可能です。SYSTEMを押し、F SWを押し、設定します。
2. アルティメットのユーザーボタンが1ボタンずつ読み込めます。LOAD時、L1からL4で指定出来ます。

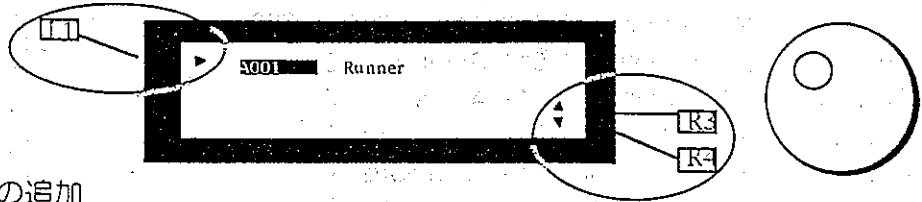
## K5000S

1. I/O以外のワッチ・キャンセル & UNDO機能。(K5000S Play Mode) L4でI/O以外がキャンセルされます。L4を再度押しすると元のI/Oに戻せます。WRITE後は戻りません。

## K5000W, S, R 共通 (Ver.3.x 以前に追加された内容)

1. emagic 社のイテター・ライブリアリティ SoundDiver K5000 (WINDOWS/MAC 版) を標準で同梱しています
  - 1) 全ての DHL, DHE による倍音構成を 3D グラフィック表示。
  - 2) マウス、トラックボール等によるハードローイング機能。
  - 3) DHL, DHE, DFL 用のプリセット波形及びインパルーフ、フィルターをそれぞれに搭載。
  - 4) Wav, AIFF 等の PCM 波形を元に DHL, DHE 用の倍音データを生成するサブリアルタイム機能。
  - 5) ドラムKIT, B BANK (K5000W), MACRO CONTROL のユーザーアサイン (K5000S/R) を含むグラフィック・イテター機能
  - 6) 無限回のアトacker機能。
  - 7) ドラムKIT, B BANK 音色 (K5000W), MACRO CONTROL のユーザーアサイン (K5000S/R) を含むライブリアリティ機能。
  - 8) その他、音色データを SMF ファイルとして保存する機能、MIDI モニター機能、ミニ・シグナチャー機能等を搭載。
2. アドバンスド・アディティブ SINGLE 音色全てに、音色の使い方を提案するルーズデモを搭載。  
TRACK (K5000W) もしくは SECTION (K5000 S/R) の Up/Down キーを同時に押すだけで A BANK, E, F, D BANK (K5000 S/R のみ) の音色の魅力を最大限に引き出すルーズを再生。  
音色を順番で紹介するライブリティ機能や1つのルーズを繰り返すイテティブライブリティ機能も搭載。  
ルーズ演奏中に他の音色に切り替えてジャンプさせる事も可能です。  
この時音色の選択はVALUEダイヤルとR3, R4のみになります。PATCH SELECTキーは使用出来ません。  
EXIT キーでデモを終了します。このルーズデモ機能は APG DATA をロードすると一部なくなります。

3. OCT SHIFT がリアルタイム対応になりました。キカしたままの OCT SHIFT が可能です。
4. DHL, DHE での L3, L4 による倍音以外で押したままの連続移動が可能です。
5. COMBI (K5000W), MULTI (K5000S/R) の EDIT 内のボリュームパラメーターが1つ前の NAME 画面へ移動。
6. SYSTEM の MIDI に EXP.TRNS(ハタル)で送信できます。(EXP, VOL, PAN, 汎用操作子, BRTH CNT, FOOT CNT, ホルメットタイム, BAL, I7外 CNT, Sound CNT, I7外 DEP)
7. ダイヤル、Rキーによる音色セレクト  
L1 キーを押すとカーソルが音色番号へ移動します。ダイヤルで音色がセレクト出来ます。  
また、この時、R3, R4 キーで1音色ずつセレクト出来ます。



8. ペダル極性の切り替え機能の追加  
SYSTEM 内にフットペダルの極性を切り替える機能を追加。
9. その他
  1. 音色 List 表示のとき EXIT で元の音色画面表示
  2. 音色 List 表示の時、現在の音色名を画面上部に表示
  3. Bank 毎に最後に選択した音色の記憶します。
  4. コピー画面での音色名表示
  5. WRITE 画面で NAME 変更可能です。
  6. System の Back-Up, Reset の  
エクスクルーシブ対応\*

\* F0 40 (Ch) 32 00 0A (01=BackUp or 02=Reset) F7

## K5000W (Ver.3.x 以前に追加された内容)

1. APG PASTE 画面内でテンポ設定とループ ON/OFF が可能。(K5000W)
2. ポルタメント(ポリフォニック) 機能。  
SINGLE EDIT の Common 画面でポルタメント設定ができます。
3. イージー EDIT (パフォーマンス・モード) の MIDI 送受信  
SINGLE PLAY モードのイージー EDIT が MIDI で送受信可能。

H-Lo	CC#16	FFBS	CC#18	Ctof	CC#74	Atak	CC#73
H-Hi	CC#17	FFSP	CC#19	Reso	CC#77	Decy	CC#78
E/O	CC#71	FFDP	CC#75	Vel	CC#76	Rels	CC#72

Rev, Efx はエクスクルーシブ対応

F0 40 (Ch) 10 0A 03 00 06 00 (00=Efx or 01=Rev) Data Hi, Lo F7

4. Bar Delete, Song Delete の追加 (コンポーズ・モード)
5. Punch In 機能にリハーサル ON/OFF 機能を追加 (コンポーズ・モード)
6. その他
  1. OWN フォーマットで SONG を SAVE 時、Mute 情報を追加
  2. Song のイベント EDIT 画面で Bar, Beat マークを簡略化。

## K5000S, R (Ver.3.x 以前に追加された内容)

1. アルペジエータパターンにバリエーション機能の追加

アルペジエータパターンの UP ~ RND に USER パターンから一部の PAN 情報等を利用した、バリエーションを追加しました。

トリガーやゲーターパターン同様、ダイヤルで選択できます。

2. アルペジエータのテンポ表示の追加 (LCD 内右上)

# ■工場出荷音色リスト

A BANK		E BANK		F BANK		D BANK(S/R or	
			517 列-#		517 列-#		517 列-#
001 PowerK5K	051 Drawback	001 Sphaera	5	051 Metaloid	001 Coxmoxx	001 DaLead	
002 PowerBas	052 AnaKnobs	002 RockPad	4	052 Clavaxx	002 DstPulse	002 Dinosaur	
003 PowrGate	053 MicroVox	003 StageMKI	5	053 @Clustaz	003 Monolith	003 OtaStack	
004 PwrPulp	054 Cumos	004 Valves	5	054 VooCoo	004 VoXXoV	004 NoisyLD	
005 Droit	055 Dusk	005 Bronx	2	055 Slpstick	005 TubeBass	005 Sunset	
006 PowerEP	056 Tronica	006 RaVa		056 Tinnitus	006 Defourir	006 TNT5000	
007 PwrReso	057 AnvilBas	007 Oszilla	3	057 LeadGtar	007 Fitsall	007 Fantapol	
008 EvhaWatr	058 Trolddom	008 InTraxx		058 TeknoBas	008 Arpagee	008 K-Lite	
009 Addilog	059 Kemikali	009 BigTime3		059 MarsMoby	009 Sirlus	009 Jumper	
010 Vector	060 TeraModu	010 FASTSTRG	4	060 AnlogKit	010 Cyber@FX	010 VelSquar	
011 Squared	061 Skeleton	011 Rotator	2		011 Bigital	011 Entrance	
012 Crawlers	062 PBminmaj	012 Africa	3		012 VintagLd	012 HerrFumy	
013 PsycDeli	063 Lorrain	013 DynoSaur	3		013 Bi-Iltis	013 UndaWear	
014 AttakStr	064 MetalCmp	014 GosplOrg	4		014 History	014 Morphos	
015 Wien	065 Comatose	015 Rezonato	2		015 ArchyBaz	015 Gulliver	
016 Solini	066 DarkPuls	016 TB5005			016 Drm&Bass	016 Monks	
017 RainNoir	067 Frogs	017 Taurus	2		017 SWinwood.2	017 K-Philes	
018 CalZone	068 Pinor	018 Gorgizmo			018 @--H ^ M--	018 HotSpot	
019 PBendMin	069 Kenzo	019 OB_Hornz	3		019 TranzPad	019 FloorSaw	
020 SinusPad	070 Rechner	020 Junova	3		020 Chimera	020 Scotty	
021 Craazy	071 Keybolon	021 Harmonic			021 Predator	021 Peaceful	
022 FuseBurn	072 Gruppen	022 Creaturz			022 X-Philes	022 Breathy	
023 SynTech	073 Raveish	023 FM-PIANO	4		023 Esseter	023 VoiceStr	
024 Raphael	074 Organica	024 SmthWssn	3		024 CM1_Sara	024 Chamber	
025 Stucco	075 RevChina	025 RaveRizm			025 PD_Bass	025 Interpol	
026 Plexus	076 Limbourg	026 505_Hard	5		026 EuroLead	026 O-Tone	
027 TheDeep	077 Melankol	027 OB@5000	5		027 Myst2006	027 Raver	
028 Tune In	078 SoftEp	028 @lsCream	5		028 ClaTron	028 FFBass	
029 Metophon	079 Homer	029 PlayWtMe	2		029 Seaworld	029 Crystalz	
030 Tocana	080 Ginza	030 DreamMch	3		030 Modula	030 WireTrap	
031 WarmBass	081 Pulse	031 Polecat	2		031 HissComp	031 CybaStrt	
032 PWMbass	082 Gleamer	032 Heaven			032 Log_On	032 Vector	
033 Lemon	083 Harvey	033 Engage			033 @_gLoRy	033 Nylong	
034 Polar	084 Marais	034 Milleniu	5		034 Cntmporg	034 BellEcho	
035 HitOglyf	085 Micron	035 UltraSub			035 MotownBs	035 NewGhost	
036 Plastic	086 Octavia	036 Houzeton			036 House_55	036 Aquarius	
037 Harikami	087 IceDust	037 Screamer			037 Real_Pad	037 Meltonin	
038 Electron	088 Sphyx	038 Wavelab			038 HonaDrve	038 Moover	
039 GasLeak	089 Teisco	039 The_OB!	1		039 Waveswim	039 Castalia	
040 Organ X	090 Big Red	040 PhazStrg	3		040 Runner	040 Quack	
041 Smasher	091 Planet	041 K-Bells					
042 NemeSys	092 Santa	042 ClassPad	4				
043 Lumino	093 BlowAway	043 Melmaker					
044 KlikBass	094 BlurrPad	044 @Vocodor	5				
045 Kemi	095 Morfolog	045 Pound	2				
046 Nilfisk	096 Heater	046 PolyMorf					
047 Viby	097 ElastOrg	047 IronHead	1				
048 Attila	098 Boreal	048 SynCity					
049 Bbbbasss	099 Drum+Bas	049 Protonic					
050 Fifth	100 TechKit	050 Warmer	1				

K5000シリーズ用の新しいソフトバンク Ver.4.0には Sound Library から選択した音色がA, E, Fにプレイリスト化されています。

●7つのソフトバンク・サウンドライブラリー 各 ¥4,000(税別)  
 Vol.1 セッション・ツールキット  
 PCM音源とはひと味違うミューズサウンドが中心。  
 Vol.2 ハーモニクス・リット  
 外周通りの内容で、太く、抜け良く、使える音を満載。  
 Vol.3 クラシック・サウンド  
 いわゆるビートルズ・サウンドのオバレード。  
 Vol.4 パンク & ロック  
 パンク系の音色とロック用音素材を集めました。  
 Vol.5 ミュージック  
 幅広いジャンルのサウンドを収集。加藤-001制作。ME-1に同梱。  
 Vol.6 ミュージック  
 アビントを意識した幅広いジャンルを網羅しています。  
 Vol.7 アルバム  
 アルバムという音楽面からA-タイプを追求した音色。

## COMBI (W only)

01 MegaPowr  
 02 1-ManBnd  
 03 Technos  
 04 VoicBass  
 05 Noiz@Pad  
 06 TimeWar  
 07 DrugyCat  
 08 WaterBox  
 09 CharmPIN  
 10 Broadz  
 11 Medieval  
 12 Evening3  
 13 Kudos  
 14 Meisters  
 15 NeoByte  
 16 ReachMe  
 17 Decker  
 18 Addalog3  
 19 Weather  
 20 Evening4  
 21 A-Normal  
 22 4thWords  
 23 PAC-Lead  
 24 NuAgeDuo  
 25 RugDsign  
 26 PipeVoiz  
 27 HaukZone  
 28 BrassPad  
 29 Belln  
 30 Beatnix  
 31 Jan&Jack  
 32 UglyDuck  
 33 WindBras  
 34 Cleanse  
 35 Pavement  
 36 VelvetES  
 37 FundaKit  
 38 PrickUp  
 39 Wilder2  
 40 J-Pad  
 41 K-Hit!2  
 42 Pno¥Hvn1  
 43 Addalog4  
 44 Primeval  
 45 Darling  
 46 Splurge  
 47 MegaForm  
 48 Bluff  
 49 AyersRok  
 50 Pno¥Drm1

## MULTI (S/R-only)

01 MegaPowr  
 02 1ManBnd  
 03 Technos  
 04 VoicBass  
 05 Noiz@Pad  
 06 LoFiRaVe  
 07 MugModul  
 08 Vurtual  
 09 BiggestT  
 10 Souliner  
 11 HitHarda  
 12 80sTripl  
 13 60s=>90s  
 14 Popal  
 15 Reworse  
 16 TrancSet  
 17 TaurusRex  
 18 Old\_Pals  
 19 Juiize  
 20 TheCream  
 21 Icycles  
 22 Beasts  
 23 Broadz  
 24 Cabinat  
 25 Ugglie  
 26 Industrl  
 27 X\_Analog  
 28 Effector  
 29 Saurus  
 30 VCsectn  
 31 Trynyty  
 32 Kquinox  
 33 RedCarpt  
 34 Wembley  
 35 BassJam  
 36 Usetone  
 37 Yyieeah  
 38 XXL0-Fi  
 39 Heroizer  
 40 FazeLift  
 41 Chyl dran  
 42 Luxury  
 43 Weirdos  
 44 Velcords  
 45 MotownSp  
 46 PresTape  
 47 Destroyt  
 48 VariCodr  
 49 Smartazz  
 50 MaxHeat

51 Screecha  
 52 AyersRok  
 53 SeaQuest  
 54 DynoCodr  
 55 LoopMakr  
 56 StrongLn  
 57 SoLonely  
 58 TheWall!  
 59 DeadMoon  
 60 Velotron  
 61 NewWords  
 62 Frowning  
 63 MegaForm  
 64 MegaPad

旧バージョンから注) Ver.4.0には基本的に新しいバージョンのME-1が必要です。(なくても動作はしますが  
 のインストール リンクやマルチ、コンビの工場出荷パッチが正しく再現しません。)  
 方法 システムをインストールすると音色等のメモリも初期化されます。必要なデータは予め  
 保存しておいて下さい。

1. 新しいシステムディスクを70ピットディスクドライブに入れます。
2. K5000W,SはLCDの下側にあるF2ボタン、K5000RはF8ボタンを押しながら電源SWをONにします。自動的に読み込み、立上がります。
3. 新しいバージョンのME-1が装着されている場合はSupplementDiskから「POWREBNK.KCA」をツグルEバンクに、「POWRFBNK.KCA」をFバンクにロードします。

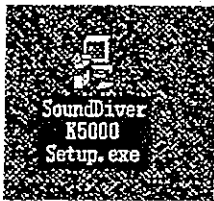
Windows Version

# SoundDiver K5000

Ver.4.0

このソフトは emagic 社による KAWAI K5000 W/S/RVer.2.0 以上用のソフトウェアです。  
K5000 本体の仕様や操作方法については本体の取扱説明書をご覧ください。  
尚、インストールした音色を K5000 で保存する場合は WRITE 動作を K5000 で行って下さい。

1. インストールの方法 Windows95, Windows NT4.0 以上をご使用下さい。  
これら以外は使用出来ません。CPU は WINDOWS95 が動作するもの。  
メモリー-16Mbyte 以上(推奨 24Mbyte 以上)。  
MIDI I/F の取扱いドライバ-につきましては、MIDI I/F の取扱説明書をご覧ください。



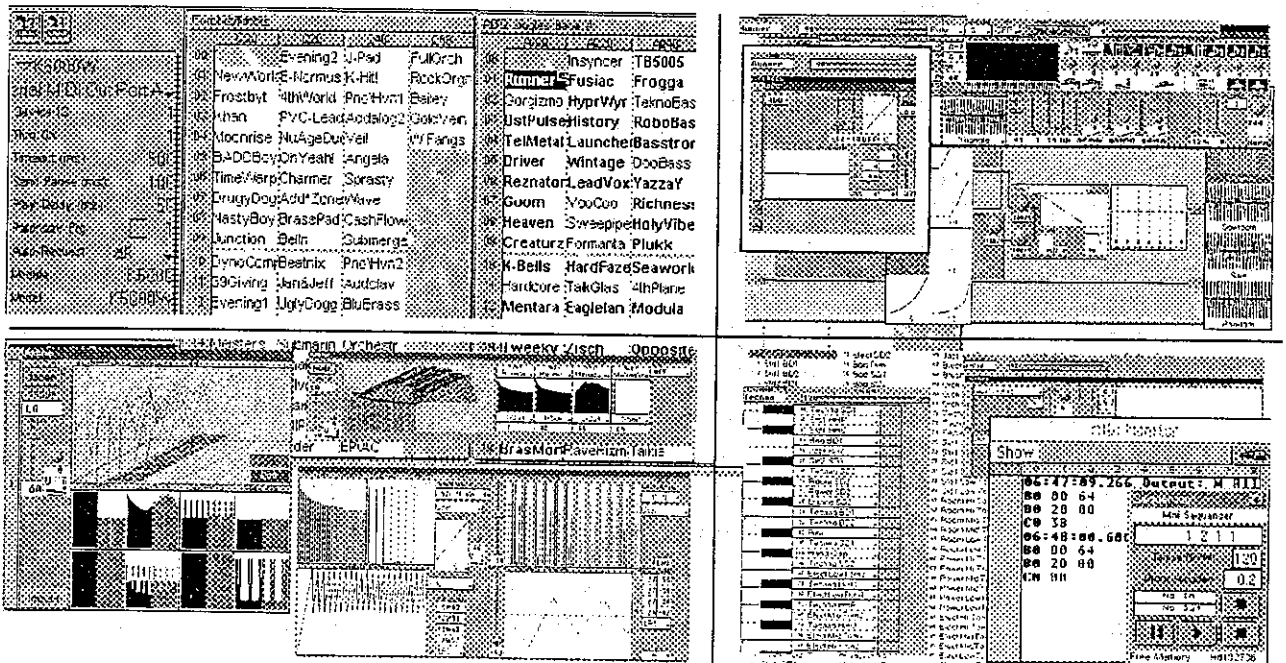
- Windows を起動します。
- ディスクをソフトに入れマイコン-タイプインをダブルクリックして開きます。
- 3.5インチFD をダブルクリックします。
- SoundDiverK5000Setup.exe アイコンをダブルクリックします。
- 画面に従い NEXT ボタンを 3 回おします。
- インストー-をインストールするフォルダ-を指定します。
- 画面に従い、NEXT ボタンを 2 回押すとインストールします。
- 終わったら CLOSE ボタンを押します。

インストールする場合はコントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」で SoundDiverK5000for Windows を選び追加と削除ボタンを押し、画面に従い NEXT ボタンを押していきます。

K5000 本体の MIDI IN と OUT を MIDI I/F に接続しスタートメニューのプログラムから  
Emagic->SoundDiverK5000->SoundDiverK5000  
の順で選ぶと起動し、K5000 本体の状態をソフト-に転送します。  
転送しない場合は下図左上の MIDI ドライバ-の選択と MIDI I/F の動作を確認して下さい。

## 2. メリ-マネ-ツ-画面

最初の画面は音色のタイプ-編集画面です。接続された W/S/R は自動的に選択されます。  
K5000W が接続されている場合は B BANK, DRUM のソフト-も可能です。



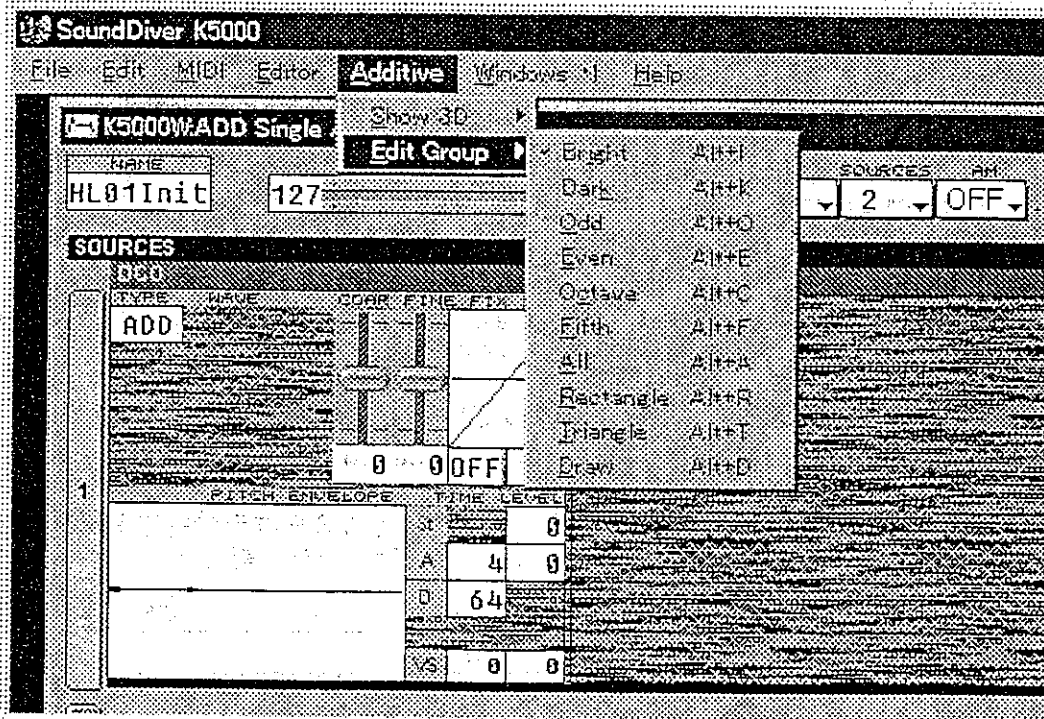
前頁下の図左上がライブ編集画面です。文字が「-」表示になっている音色は MULTI もしくは COMBI で使用している音色です。また、MULTI を選択した場合、使用している SINGLE が左下に表示されます。

### 3. EDIT

ライブ編集画面でエディットしたい音色をダブルクリックすると右上の画面が表示されます。パラメータは右の方にありますのでスクロールして下さい。左側の番号をクリックするとミュートされ画面が節約出来ます。全てのパラメータがUndo, Redo 可能です。尚、Shiftキーを押しながらクリックすると、その場所の比、リストが出来ます。

### 4. ADD EDIT

音色エディット画面で下の方にスクロールしていくと3次元表示の波形 EDIT 画面が現れます。画面左上のプルダウンメニューに EDIT するグループがありますので、ここで選択して下さい。尚、このグループは画面右のフォーマットフィルターでも共通です。

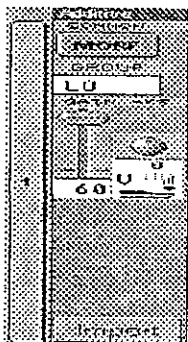


### 5. Additive のプリセット

Additive の波形 DHL, I/A, DHE, フォルマットフィルター-DFL には、いくつかのプリセットが用意されています。倍音の EDIT 画面のすぐ右側のボタンをクリックすると選べます。

User	User
Init	Init
LoPass Re	Piano
HiPass Re	E-Piano
BP smooth	Struck
HiPass Re	Pad fast
3 Reso	Pad slow
4 Reso	Bass
Phaser	Perc. Organ
Fantasy	Even > Odd
Robot	Formants
Spring	OrganFade
Colagne	Octaver
Manhattan	Syn
Mount Fuji	Attack
Melody	Repeat
Comb	E/O Loop
Weird 1	Metal Loop
Weird 2	Organ Loop
	Mod Loop

### 6. サンプルインポート



PCM 波形(AIFF, WAV, etc)をもとにして倍音を作り出す機能です。例えば、予め、ベース波形を使う場合はベース系の音色を選んでおいて波形を入れ替えるようにするとフィルターやI/A, DHE等がイメージに近づきます。他のリストをミュートして1つずつインポートすると解りやすいでしょう。操作は3次元画面の左のIMPORTをクリックします。インポートが終了したらDONEをクリックします。尚、この機能はサンプラーではないので必ずしも元音に似るとは限りません。

### 7. データの保存、読み込み

データを保存するにはウィンドウメニューのEntryをクリックしSave asで保存する内容を選択し、保存します。読み込む場合はEntryをクリックし、Load & Transmitを選びます。

### 8. ユニバーサル版へのバージョンアップ

詳しくは株式会社メディアへお問い合わせ下さい。TEL 03-5373-1502

MAC Version

# SoundDiver K5000

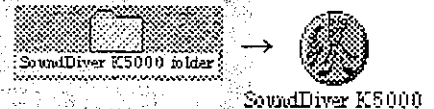
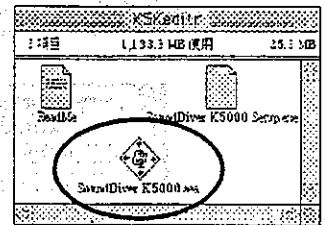
Ver.4.0

このデータは emagic 社による KAWAI K5000 W/S/RVer.2.0 以上用のソフトウェアです。  
K5000 本体の仕様や操作方法については本体の取扱説明書をご覧ください。  
尚、インストールした音色を K5000 で保存する場合は WRITE 動作を K5000 で行って下さい。

## 1. インストールの方法

ディスクは DOSフォーマットなので PC Exchange 等が必要です。  
System は「漢字 Talk 6.0.7」以上をご使用下さい。  
MIDI Manager は可能な限り使用しないで下さい。

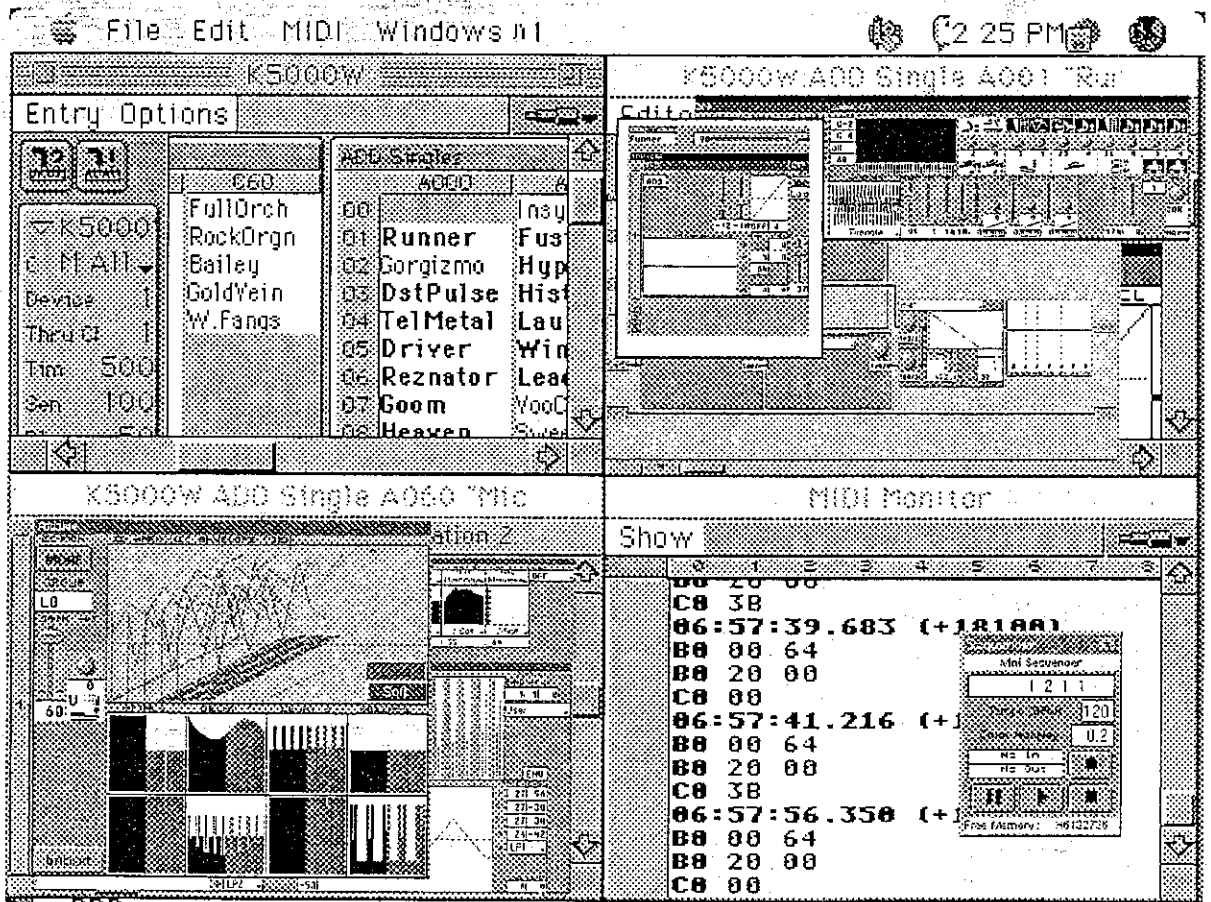
ディスクから SoundDiverK5000.sea をハードディスクにコピーして下さい。  
これは圧縮ファイルなのでダブルクリックしインストール先を指定し解凍します。  
K5000 本体の MIDI IN と OUT をコンピュータに接続された MIDI I/F に接続します。また、Apple Talk は OFF にして下さい。  
解凍したフォルダ内に右図右下のアイコンがあります。これをダブルクリックすると起動し K5000 本体の状態をデータに転送します。



転送を開始しなかった場合は、接続を確認して SYSTEM の初期設定フォルダ内に SoundDiverK5000Preference がある場合にごみ箱に捨てて再度実行して下さい。

## 2. ライブラリ編集画面

最初の画面は音色のライブラリ編集画面です。接続された W/S/R は自動的に選択されます。  
K5000W が接続されている場合は B BANK, DRUM のデータも可能です。



上図、左上がライブラリ編集画面です。文字がボールド表示になっている音色は MULTI もしくは COMBI で使用している音色です。また、MULTI を選択した場合、使用している SINGLE が左下に表示されます。Jワトキを押しながら選択すると発音します。



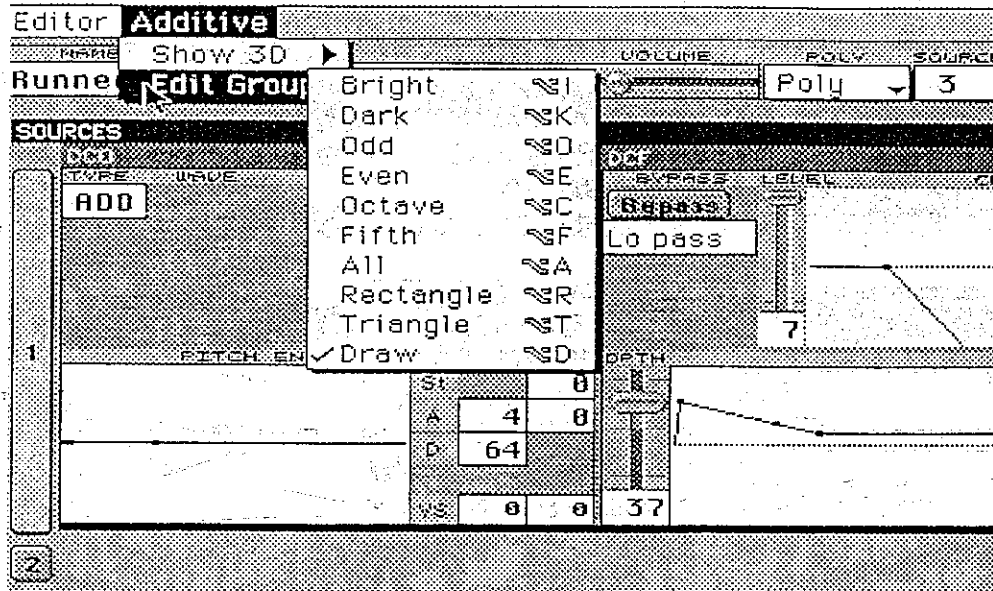
### 3. EDIT:

タイプ別編集画面でディテールしたい音色をクリックすると左図、右上の画面が表示されます。パラメータは右の方にありますのでスクロールして下さい。左側の番号をクリックするとミュートされ画面が節約出来ます。全てのパラメータがUndo, Redo 可能です。

尚、Shiftキーを押しながらクリックすると、その場所の北マウスが出来ます。

### 4. ADD EDIT:

音色ディテール画面で下の方にスクロールしていくと3次元表示の波形 EDIT 画面が現れます。画面左上のプルダウンメニューに EDIT するグループがありますので、ここで選択して下さい。尚、このグループは画面右のフォーマットフィルタでも共通です。

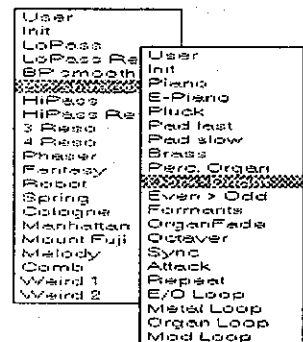


### 5. Additive のプリセット

Additive の波形 DHL, インスローフ DHE, フォルマットフィルタ-DFL には、いくつかのプリセットが用意されています。倍音の EDIT 画面のすぐ右側のボタンをクリックすると選べます。

### 6. サンプルインポート

PCM 波形(AIFF, WAV, etc)をもとにして倍音を作り出す機能です。例えば、予め、ベース波形を使う場合はベース系の音色を選んでおいて、波形を入れ替えるようにするとフィルタやインスローフ等がイメージに近づきます。他のソースをミュートして1ソースづつインポートすると解りやすいでしょう。操作は3次元画面の左の IMPORT をクリックします。インポートが終了したら DONE をクリックします。尚、この機能はソフトウェアではないので必ずしも元音に似るとは限りません。

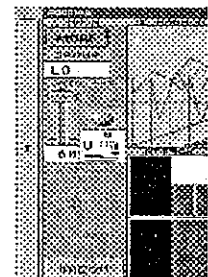


### 7. データの保存、読み込み

データを保存するには左図、左上の Entry をクリックし Save as で保存する内容を選択し、保存します。読み込む場合は Entry をクリックし、Load & Transmit を選びます。

### 8. ユニバーサル版へのバージョンアップ

詳しくは株式会社メディアへお問い合わせ下さい。TEL 03-5373-1502



emagic 及び SoundDiver は EMAGIC GmbH 及び EMAGIC Soft-und Hardware GmbH. の商標です。Windows95 の正式名称は Microsoft Windows95 Operating System です。Microsoft, Windows は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。Mac OS は米国アップルコンピュータ社の米国及びその他の国における登録商標です。その他全ての商品名は関係各社の商標です。仕様は予告なしに変更されることがあります。上記仕様は 1997 年 4 月現在のものです。